

佐藤洋嗣リサイタル

日本のコントラバス作品
その可能性



佐藤洋嗣(コントラバス) 西耕一(企画・司会)

- 黛敏郎(1929-1997) : BUNRAKU(1960)
- 湯浅譲二(1929-) : Triplicity for Contrabass(1974)
- 藤倉大(1977-) : es(2013)
- 松平頼暁(1931-) : Replacement (1987)
- 川島素晴(1972-) : The YAGI 節
- 下山一二三(1930-) : 深響第3番(委嘱初演)
- 増本伎共子 : My 六段(委嘱初演)
- 磯部英彬(1982-) : ナポリ・インバータ
《映像とコントラバスの音素材による》(委嘱初演)

2017
3/26 (日) 13:30 開場
 14:00 開演
安養院瑠璃光堂

国際興業バス「小茂根三丁目」徒歩3分 東武東上線「上板橋」徒歩15分

—— ※入場無料(投げ銭制) ——

問合せ・予約

Tel : 090-2566-9924

Mail: y.o.z.i.1979@gmail.com

予約制ではありませんが、席に限りがございますので事前にご予約ください。



日本のコントラバス作品、その可能性

コントラバスはジャンルを横断する。佐藤洋嗣は、ソロからオーケストラ、ジャズ、タンゴ、現代音楽など幅広く活躍するコントラバス奏者である。その多彩な拡がりは、これまでにも多様に探求されてきた。現在までの、めざましい活躍と成長はここで述べるまでもない。その魅力的な演奏で「日本のコントラバス作品を聴きたい」と思った。

日本初のコントラバス曲が作曲されてから今年で 83 年。その歴史を踏まえ、過去から現在、そして未来に連なるコンサートが形作られた。演奏するのは佐藤洋嗣だけであるが、無伴奏の曲だけではない。多重録音・リアルタイム再生、映像など、最新の技術も駆使して委嘱初演も含む「コントラバスの可能性」が展開される。

会場は、美しい日本建築と最新の音響設備をあわせもつ板橋のお寺(安養院・瑠璃光堂)。「日本の作品を、日本特有の建物で演奏する」。音楽がどのように聴かれるべきかと考えていた私にとって、理想的な空間でのコンサートと言えるかもしれない。「佐藤洋嗣 × コントラバス」ご期待ください(企画：西耕一)。

WINDS CAFE とは

WINDS CAFE は 1997 年川村龍俊が、音楽を中心に美術演劇映画などさまざまなジャンルの方々に企画していただきながら続いているイベント。WINDS CAFE のコンセプトは、「好きなことやものを楽しんでいる人と一緒にいるのはなんて楽しいことだろう」です。

第 1 回から第 120 回までは現代陶芸家の板橋廣美氏の私邸である東京吉祥寺の空中庭園 WINDS GALLERY を、第 121 回から第 135 回までは建築家藤村貞夫氏の私邸である東京三軒茶屋の住宅街の隠れ家レンタルスペース SF を、第 136・137 回は現代美術コレクターの増井常吉氏の私邸である住宅街の秘密基地 MACA GALLERY を会場として行きましたが、2008 年 6 月の第 138 回以降は、内容によって最適な場所を選んで開催します。

1997 年 1 月にスタートした WINDS CAFE も、2016 年に 20 周年目を迎えました。(http://www.st.rim.or.jp/~mal/Cafe/)

佐藤 洋嗣 コントラバス

高校時代はエレクトリック・ベースを演奏し、卒業後コントラバスの魅力に触れ、転向。2006 年東京音楽大学卒業。現在は室内楽、オーケストラ、アルゼンチン・タンゴなどを下から支えつつ、コントラバスの新しい可能性を探りながら演奏している。京都・国際音楽学生フェスティバル、PMF、セルバンテス音楽祭、テグ国際現代音楽祭など国内外の音楽祭に参加。ヤマノミュージックサロン講師。2011 年度バンドジャーナル誌に於いてワンポイントレッスンを連載。2012 年、2015 年ソロリサイタルを開催。

会場のご案内

安養院瑠璃光堂

国際興業バス「小茂根三丁目」徒歩 3 分
東武東上線「上板橋」徒歩 15 分

東京都板橋区東新町 2-30-23
※車でのご来場が可能です。(会場に無料駐車場あり)



地図はこちらからも確認いただけます。
<https://www.3s-ed.net/concert/chamber/kb/>

